

モニタリング結果報告書 (令和4年度)

1. 施設概要

施設名	真鶴港		
所在地	足柄下郡真鶴町真鶴21-5 (条例：足柄下郡真鶴町真鶴地先)		
サイトURL	http://www.town.manazuru.kanagawa.jp/ (真鶴町ホームページ)		
根拠条例	港湾の設置及び管理等に関する条例		
設置目的(設置時期)	港湾法に基づき、秩序ある整備と適正な運営を図るため (港湾区域認可：昭和29年4月、条例制定：昭和39年8月)		
指定管理者名	真鶴町		
指定期間	H31.4.1 ~ R6.3.31 (2019年) (2024年)	施設所管課 (事務所)	河港課 (県西土木事務所 小田原土木センター)

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
<p>※新型コロナウイルス感染症や原油価格高騰が3項目評価(利用状況、利用者満足度、収支状況)に与えた影響及び対応状況も含めて「総合的な評価の理由と今後の対応」を記載。</p>
<p>当施設は港湾行政事業の実施について、県の港湾整備行政との一体性が特に求められる中で、協定書及び事務処理要綱等に基づき、係留施設の利用承認業務や港湾の清掃・維持管理業務を実施している。 日々の巡視や清掃・小規模修繕により、港湾環境の保全に努めていると認められるため、今後も継続して業務に取り組まれない。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染拡大等の影響で利用状況がC評価となったため、利用者の満足度がS評価、収支状況がA評価であったが、3項目評価はB評価となった。</p>
<p><各項目の詳細説明></p> <ul style="list-style-type: none">◆管理運営等の状況 年間を通じて、船舶の岸壁利用やヨット係留、港湾管理事務所に係る利用承認業務、港湾施設維持管理業務等を着実に実施した。岸壁利用25件、係留112件等の利用承認、入港届21件の受理を行った。◆利用状況 新型コロナウイルス感染拡大とそれに伴う商業用クルーズ船の事業休止などの影響で、利用者数(ヨット出艇届ベース)は大幅に落ち込み、C評価となった。◆利用者の満足度 令和5年3月に実施したアンケート調査では接客対応等からS評価となった。◆収支状況 会計年度任用職員が4人から7人に増員し、人件費も増額したが常勤職員の給与が減少した。また、施設維持管理費用が昨年度より減少したためA評価となった。◆苦情・要望等 該当なし◆事故・不祥事等 該当なし◆労働環境の確保に係る取組状況 該当なし◆その他 特になし

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう。
B	C	S	A	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	3月	提出直前に集計誤りがあり、修正を行ったため
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	年1回 (令和4年12月)	備品の管理状況等確認に合わせて現地調査を実施し、適切に指定管理業務等が履行されていることを確認した。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	半年に1回 (令和4年6月6日、 令和5年1月実施)	管理事務所の運用方法や港湾施設の整備等について
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有・無	指導・改善勧告等の内容
		なし

5. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
船舶の岸壁利用やヨット係留等に 係る施設利用承認業務	年間を通じて、岸壁利用25件、 係留施設112件のほか管理事務所 の利用承認63件、入出港届21件 の受理等の事務を行った。	継続して取り組まれたた い。
港湾施設維持管理業務の実施	観光客等が多く訪れることか ら、琴ヶ浜の公衆トイレなどの 清掃及び巡視業務等を毎日実施 した。	継続して取り組まれたた い。
例年「海のまち豊漁豊作祭」にお いて利用者に対するアンケートを 実施	新型コロナウイルス感染症拡大 予防のため「海のまち豊漁豊作 祭」が中止となったため、3月 に郵送にて実施した。	利用者満足度調査の実 施方法について検討が 必要である。

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症等の影響がある場合、対応状況を含めて、「実施状況等」欄に記載。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
ヨットの体験乗船会の開催	メイン事業である「海(わたつみ)のまち豊 漁豊作祭」が新型コロナウイルス感染症の 影響で開催中止となったため、開催できな かった。
真鶴港みなとまちづくり協議会の開催	メイン事業である「海(わたつみ)のまち豊 漁豊作祭」が新型コロナウイルス感染症の 影響で開催中止となったため、開催できな かった。
ヨットオーナーズクラブと意見交換会を開催	令和4年6月6日、町がオーナーから要望 を聴取。令和5年1月26日、県、町及び オーナーと三者で話し合いを行った。令和 5年3月12日、町とオーナーで話し合いを 行った。

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症等の影響がある場合、対応状況を含めて、「実施状況等」欄に記載。

6. 利用状況

評価	<<評価の目安>> 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性保護施設と県営住宅等が該当）。
C	

	前々年度	前年度	令和4年度
利用者数※	397	247	220
対前年度比		62.2%	89.1%
目標値	3,312	3,378	3,445
目標達成率	12.0%	7.3%	6.4%

目標値の設定根拠： 提案書の目標値

利用者数の算出方法（対象）： ヨット出艇届出数

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

主にヨット係留施設であるため

<備考>

【新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響と対応状況】

（※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載）

①新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響

港湾を舞台としたメイン事業である「海のまち豊漁豊作祭」が中止になったことにより、ヨットの体験乗船事業が中止となった。
 また、商業用クルーズ船が事業撤退してしまい、昨年に引き続き利用者が大幅に減少した。

②令和4年度の対応状況

新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を徹底するとともに、町ホームページに短期係留の申請に係る情報を掲載し利便性の向上を図った。

7. 利用者の満足度

評価	<<評価の目安>> 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
S	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	年間1回「海のまち豊漁豊作祭」時に調査	「海のまち豊漁豊作祭」開催中止のため、令和5年3月末に郵送にて実施したが、対象者が大幅に減少した。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 _____ 利用状況、利用の印象 _____

実施した調査の配布方法 _____ 郵送 _____ 回収数/配布数 10 / 11 = 90.9%

配布(サンプル)対象 _____ 真鶴港ヨットオーナーズクラブ、株式会社鈴木組、真鶴町漁業協同組合

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	3	6	1		10	
回答率	30.0%	60.0%	10.0%			
前年度の回答数	6	0	4		10	
前年度回答率	60.0%		40.0%			
回答率の対前年度比	50%		25%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備考>

【新型コロナウイルス感染症等が利用者満足度に与えた影響と対応状況】

(※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症等が利用者満足度に与えた影響
 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

②令和4年度の対応状況
 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

8. 収支状況

評価	≪評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設≫ 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	17,290				17,290	16,975	315	/
	決算	17,290				17,290	17,367	-77	99.56%
前年度	当初予算	17,668				17,668	17,668	0	/
	決算	17,668				17,668	17,668	0	100.00%
令和4年度	当初予算	17,312				17,312	17,312	0	/
	決算	17,312				17,312	17,312	0	100.00%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

令和4年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

【新型コロナウイルス感染症等が収支状況に与えた影響と対応状況】

(※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症等が収支状況に与えた影響
 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

②令和4年度の対応状況
 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

9. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	件		
	件		
職員対応	件		
	件		
事業内容	件		
	件		
その他	件		
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。